



次回でらこや

「発掘現場と出土遺物を
見てみよう!」のお知らせ

2014年(平成26)11月、与那原駅舎展示資料館の外構工事中に沖縄県鉄道(軽便鉄道)のレールと犬釘が発見されました。与那原町文化財保護審議会や町内外からレール保存の声があがったため外構工事は一時中断。発掘調査が行われ、ホームの縁と思われる遺構なども出土しました。その発掘調査が今年度も行われます。与那原駅舎では、発掘調査を行っていることや県鉄に関する遺物が出土していることを多くの人に知ってもらうため、次回のでらこやは「発掘現場と出土遺物を見てみよう!」を開催します。講師は調査業務に携わる與那嶺明恵氏(教育委員会生涯学習振興課)で、発掘現場の見学のほか、前回調査で出土した遺物の本物を前にして解説してもらいます。



(上)出土したレール
(右上)前回の発掘調査の様子
(右下)出土した犬釘
写真は『町内埋蔵文化財予備調査報告書』
与那原町教育委員会、2020より



開催日については、発掘調査のスケジュールに合わせ、9月の下旬以降を予定しております。詳細が決まりましたら改めて駅舎公式サイトやSNSでお知らせします。
※レールは埋め戻され現地保存されているため、今回はご覧いただけません。ご了承ください。

2023 9 月号
【発行所】
軽便 与那原駅舎展示資料館
与那原町字与那原 3148-1
TEL 098-835-8888
【発行人】
株式会社 YUKAZE (指定管理者)

旅本マルクト&
オクトーバーフェスト
開催します

毎年10月14日は「鉄道の日」です。1872年(明治5)10月14日、新橋・横浜間で日本初の鉄道が開業したことにちなみ、1922年(大正11)に当時の鉄道省(後の国鉄/JR)によって制定されました。「鉄道省」や「鉄道の日」といふと、あまり馴染みがないかもしれませんが、沖縄県鉄道も鉄道省の管轄下にありました。県鉄が走っていた戦前の沖縄にとって「鉄道の日」は身近な記念日だったのです。
与那原駅舎では、鉄道の日関連イベントとして乗り物や旅行に関する古本を販売する「旅本マルクト」を開催いたします。(出店・波止場書房)
また、1914年(大正3)の県鉄開通式ではビアホールの出店があり、さらに県鉄がドイツ製の機関車を保有していたことにちなみ、駅前広場でクラフトビール(AGAR

駅舎コラム④

「快速」が走る与那原

鉄道の停車駅のうち、途中駅の一部を通過し、目的地に早く到着する列車を「快速」と呼びます。現在の沖縄ではあまり馴染みのない「快速」ですが、実は県鉄与那原線に一時期、設定されていました。県鉄における快速列車の始まりは1930年(昭和5)のガソリンカー(気動車)導入です。蒸気機関車より速かったため快速が設定されたものと

思われます。

県鉄の快速は那覇・与那原間を何分で結んでいたのでしょうか。当時の時刻表によると通過駅は真玉橋と一日橋で、筆者が確認できる範囲で最短24分となっています。計算すると平均速度は時速約23キロ。現在の感覚では遅く感じますが、それでも渋滞なく24分で那覇まで行けるのは魅力的です。もし県鉄が現存し、最新車両が導入されていればさらに短時間で往来できたかもしれませんね。(学芸員K)

IHAMABREWERY)が飲めるオクトーバーフェストも同時開催します。
出店者など詳細は駅舎新聞10月号や公式サイト、SNSでお知らせします。
【開催日】
10月21日(土)〜22日(日)
※鉄道の日のお翌週になります。ご注意ください。

ミニ企画展情報

1930年代の沖縄観光

【期間】7月19日(水)〜10月2日(月)

【内容】1930年代の沖縄観光。パンフから当時の観光を探ります。(期間を延期しました)



与那原町立
軽便 与那原駅舎 展示資料館

戦前の沖縄にあった沖縄県鉄道(沖縄県営鉄道/軽便鉄道)。その与那原駅の駅舎を2014年度に復元しました。沖縄県鉄道の歴史や鉄道関係資料を展示する小さな鉄道資料館です。

開館時間 10:00 ▶ 18:00
休館日 火曜日、12/29-1/3
入館料 ¥100 (町外)

【入館料無料】町内在住・通勤通学/小学生以下/「障害者手帳」をお持ちの方とその介助者/まち歩きガイドの一行/学習を目的とした団体の講師

公式サイト、SNS
https://www.yonabaruekisha.com/

